

広野駅舎の整備をせよ

遠藤町長／JR水戸支社と協議を進めていく

門馬 現在の駅舎は、現代において、建築様式・機能面からもマッチングしない駅舎です。

昨年開校した、ふたば未来学園高等学校の生徒も通学しており、今後乗降客数は増えます。

双葉郡南部の玄関口で復興拠点駅として、町・議会が一体となり、次の3点について関係機関に要望活動を展開しようではありませんか。

町長の考えを伺います。

- ①駅舎の近代化
- ②跨線橋へのエスカレーター設置
- ③乗降ホームへの屋根設置

町長 ①JR水戸支社より広野駅の駅舎が昭和12年12月の供用とのこと、新たな駅舎の計画が示され、駅前広場の整備と併せて協議を行っています。

②跨線橋へのエスカレーター設備は、新たな駅舎の計画協議の中で検討していますが、JRの正規職員が常駐しない駅であることから管理運営面で課題があり、難しい状況です。

③JR利用者の降雨時の対策として、屋根の設置についてJR水戸支社と協議を進めています。



整備が求められている広野駅舎



門馬 巧 議員

高齢者のために駅のバリアフリー化を

遠藤町長／課題があり難しい状況

塩 3世代が帰町して暮らしている家族がいる反面、一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯が多く見受けられます。

高齢者が暮らしやすい町づくりをしていかねばならないという思いから、次の3点について伺います。

- ①町内居住者の65歳以上の高齢比率は何%ですか。
- ②高齢者が多い町になった以上、駅のバリアフリー化は最優先に取り組みべきではないですか。
- ③町が帰町後、様々な

団体や学生などが支援に入り、町民が気軽に集える場所の提供を真剣に取り組んでいただきたいと思います。

現在は、町民が集える場所の提供はどうか伺いますか。

町長 ①11月末現在、町内居住者2386人のうち65歳以上が748人であり、高齢者率は31.3%となっています。

②新たな駅舎の計画協議の中で検討していますが、JRの正規職員が常駐しない駅であることから管理運営面での課題があり、難しい状況です。

③駅前駐車場の一部に、小規模かつ仮設建築物ですが、平成27年度事業として「木造交流センター」の整備を計画しています。

当該施設は町民が気軽に集える場所として提供する予定です。



塩 史子 議員



不安解消に向けて設置が求められる街路灯

不安解消のため、街路灯、防犯灯の更なる充実を

遠藤町長／計画を立て設置していく

塩 町の中心地から離れた所にも作業員宿舎が建つていて、見知らぬ人が多いため、町民の不安の解消、安心の確保のためにも暗い箇所への街路灯、防犯灯の充実を進めるべきと考えます。

町長の考えを伺います。

町長 現在、町内には102基、防犯灯が513基、駅前通りを主に商工会で設置している街路灯が64基、合計679基が設置されています。

行政区長などからの要望に基づき、現地調査を行い、随時設置している状況です。

今後は、実態調査を踏まえ年次計画を立てながら設置していきま



空き家等対策を適切に

空き家等対策の進捗状況は

遠藤町長／実態把握をし、措置を適切に行う

門馬 適切な管理が行われない空き家は、防災・衛生・景観等地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしています。

これを適切適正に措置するため、空き家等対策特別措置法が制定されました。

国は指針を示し、指針に則した条例の制定を求められていると思いますが、取り組みの進捗状況はどうか。

町長 本町の現状は、今なお多くの町民が避難生活を強いられており、帰町・復興の途にあります。

空家等対策は、今後、町民の帰還状況を見極めながら、空家等の実態把握をして必要な措置を適切に講ずるよう努めます。

新たな火葬場の建設は

遠藤町長／総合的に勘案し、協議していく

塩 双葉地方広域市町村圏組合の斎場「聖香苑」について、私の質問に対し、「新たな施設の必要性を十分認識しており、広域圏組合で慎重に協議したい」と述べられました。

平成27年度もあと残り3カ月余り、具体的な協議に入ったのか伺います。

町長 帰還困難区域に施設はあり、広域圏組合の確認において、施設は停電しており、機械類の動作確認が出来ない状況です。

目視では建物の一部が損傷し、除染もされていない状況です。

広域圏組合管理者会議で、現有施設の損傷程度、放射線量の環境変化など、様々な観点から検討が必要とされ、代替施設の整備も含めて総合的に勘案して協議をしています。